

平成26年度学校評価実施報告書

次のとおり学校評価を実施しましたので報告します。

学校目標	取組みの内容		校内評価		学校関係者評価	学校評価
	具体的な手立て	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		
1 研究開発学校として新たな科目の開発に継続的に取り組むことによって、生徒の学習意欲を高め、幅広い学力の習得を図るとともに、論理的思考力とコミュニケーション能力の育成・定着をめざす。	<p>① 新教科「光陵リベラル・アーツ」における各科目の研究・開発にに組み、論理的思考力とコミュニケーション能力を育成するための授業実践を行う。</p> <p>② 個々の生徒に応じた補習・講習等を実施し、適切な学習の機会と学習環境の提供を図る。</p> <p>③ 生徒が自ら得た知識を体験や考えなどと結びつけながら活用し、積極的に発信する能力と態度を育てる授業を実践する。</p>	<p>① 生徒による授業評価の「学習への取り組み」「態度・姿勢」の項目や各種アンケート等において、肯定的な回答が多かったか。</p> <p>② 補習・講習等を通じて学習効果があったか。</p> <p>③ 生徒による授業評価の「生徒主体の授業の工夫」や生徒の授業における振り返り等において、肯定的な回答が多かったか。</p>	<p>① 生徒による授業評価、及び各種アンケート等の各質問項目において、約8割～9割の生徒が肯定的な回答を行った。</p> <p>② 各種ガイダンスや個別相談できめ細かな指導を行うとともに、学期ごとに計画的な補習・講習を実施した。また、夏休みの補習等は内容を精選し、学習効果をあげた。</p> <p>③ 授業に言語活動を積極的に取り入れることによって、生徒による授業評価における「生徒主体の授業の工夫」の質問項目で、ほとんどの教科・科目で昨年度より肯定的な回答が増えた。</p>	<p>① 論理的思考力とコミュニケーション能力のさらなる育成、定着に向けて、研究開発科目で取り組んできた指導や評価の方法を他の教科・科目でも生かす取組みをすすめる。</p> <p>② 生徒に自己の学習状況を分析させ、その結果を踏まえた補習・講習を実施する。</p> <p>③ 引き続き教材や授業の工夫を行い、生徒の言語活動を充実させることによって、積極的にコミュニケーションを図る能力と態度を育てていく。</p>	<p>① 学校全体として目標を明確にして進められている。単年度で結果がでるものもあれば、そうでないものもある。(学校評議員)</p> <p>② 夏期講習では多様な講座が組まれているが、長期休業中の家庭学習のしかたなどについても講習の中で指導をお願いしたい。(保護者)</p> <p>③ 生徒主体の授業について、積極的に取り組んでいることがわかる。敬意を表したい。(学校評議員)</p>	<p>① 職員全体で共通理解を図りながら組織的・計画的に取り組むをすすめるとともに、各教科において生徒の言語活動を積極的に取り入れた授業を実践した。</p> <p>② 部活動との日程調整なども行いながら、生徒のニーズに応じた補習・講習を実施した。</p> <p>③ 職員研修会などをとおして、教材や授業の進め方、評価方法などの工夫について、職員間の情報共有を図ることができた。</p>
2 横浜国立大学教育人間科学部及び附属横浜中学との連携の取組みを発展・深化させる。また、キャリアカウンセリングの取組みをさらに充実させることによって、生徒一人ひとりの進路実現に向けた取組みを実践する。	<p>① 光陵ユニバース(KU)における探究的学習を充実させ、連携の取組の一環である「i-ハーベスト」に向け、質の高い成果発表を図る。</p> <p>② 光陵キャリアデザイン(KC)をとおして、インターンシップ等、将来の進路実現に向けた様々な行事に積極的に参加させる。</p> <p>③ キャリアカウンセリングを効果的に行い、生徒が自己の生き方・在り方を主体的に考え、実現する力を育成する。</p>	<p>① 研究開発グループと学年が連絡を密にした指導方法の向上、及びKUの成果発表への評価・講評等。</p> <p>② KC、進路講演会、キャンパスツアー、卒業生によるキャリアガイダンス、インターンシップ等に積極的に取り組み、効果があったか。</p> <p>③ 面談やホームルーム、教科・科目などの指導をとおして、生徒のキャリア育成を適切に支援できたか。</p>	<p>① 研究開発グループが指導マニュアルを作成し、学年で共有することによって指導方法の向上を図ることができた。また、i-ハーベスト発表会において、質の高い成果発表が行われた。</p> <p>② KCをはじめ、さまざまなキャリア教育の実践をとおして、系統的に自分の在り方・生き方を考える指導を行うことができた。</p> <p>③ キャリアグループと学年が連携しながら面談の充実を図るとともに、生徒の状況を踏まえ、進学に向けた適切な情報提供や出願相談を実施した。</p>	<p>① 連携による教育力の向上に努め、本校のKUと附属横浜中学のTOFYで取り組んでいる探究学習の連携をさらに深めていく。</p> <p>② イベント的な取組みに終わらせることなく、3年間を通じた指導計画の中で、キャリア教育をすすめていく。</p> <p>③ 3年間の見通しをもったキャリアガイダンスのあり方について、全職員が共通理解をもちながら組織的・計画的にすすめていく。</p>	<p>① KUで課題設定に時間をかけているのはいいことである。教科で勉強した知識がKUの探究活動で生かされるようにしていきとよい。(学校評議員)</p> <p>② 光陵生は男女がお互いの特性を尊重しながら行事などを行っていて、とてもいいことである。これは、将来、男女が同じ立場で仕事をしていくためにも大切なことである。(保護者)</p> <p>③ 生徒一人ひとりのポートフォリオがあると、3年間の積み重ねができていくので検討してほしい。(学校評議員)</p>	<p>① KUの指導マニュアルを作成し、学年で共有化したことによって、生徒が探究学習の意義について理解を深めるようになった。</p> <p>② 学校のあらゆる教育活動の場面で、キャリア教育の充実を図り、将来を見据えた学習活動を推進した。</p> <p>③ 保健室とも連絡を密にとり、職員全体で情報共有を行いつつ効果的な面談の実施を図った。</p>
3 学力向上進学重点校として、生徒一人ひとりの進学目標に向けた高い学力の習得と定着を図る指導実践を行うとともに、組織的・計画的な授業改善に向けた校内研修をさらに充実させる。	<p>① 生徒の実態を踏まえた適切な教材を精選して授業内容の充実を図り、生徒が意欲的に取り組めるような授業を展開する。</p> <p>② 高い学力の習得と定着を図るため、センター試験・二次試験での解答力を伸ばし、国公立大学の合格者数を大きく伸ばすことをめざす。</p> <p>③ 組織的な授業改善に向けて、教員同士の授業見学、職員研修会、公開授業等の充実を図り、生徒が意欲的に取り組めるような授業づくりをすすめる。</p>	<p>① 教材や授業内容の精選・充実を全職員で共有し、学年と教科が連携して指導できたか。</p> <p>② 校内模試実施後の検討会の情報を共有し、学年と教科が連携して指導できたか。</p> <p>③ 授業見学・研修会等を通じて授業改善に向けた教員の共通理解が深まったか。また、生徒による授業評価や各種アンケート、公開授業等における参加人数など。</p>	<p>① 生徒による授業評価において、授業の充実感や説明の明解さの項目で肯定的な評価の割合が高く、目標とした学習効果をあげた。</p> <p>② 1・2学年合同の模試検討会を行った。また、高い目標を持って国公立大学を目指す生徒が増え、国公立大学合格者数は10名以上伸びた。</p> <p>③ 年2回の教員間の授業見学や公開授業、及び定期的な職員研修会等とおして、組織的・計画的な校内授業研究をすすめた。生徒による授業評価等でも肯定的な回答が多かった。</p>	<p>① 3年間で到達させる学習目標を教科で共有しながら、各学年の科目において指導を実践し、一層の授業内容の充実を図る。</p> <p>② 全職員向けの模試検討会を実施し、情報を共有する。</p> <p>③ 職員研修会のあり方を工夫しながら、組織的な授業改善をすすめて、生徒の幅広い学力の育成を図る取組みを学校全体として図っていく。</p>	<p>① 教師の質の向上が求められている。生徒に達成感を感じさせるための工夫、熱意をこれからもお願いしたい。(保護者)</p> <p>② データを把握するために模試や予備校も利用するが、基本は学校の勉強だと思っている。これから確かなアドバイスをお願いしたい。(保護者)</p> <p>③ 新採用をはじめ若手の教員が増える中で、ベテランの教員もノウハウを伝える取組みも必要である。(学校評議員)</p>	<p>① 教員個々の研修だけでなく、組織的・計画的な授業改善に向けて、職員研修会を実施した。</p> <p>② 基礎的・基本的な知識の習得と同時に、思考力・判断力・表現力等を育てる授業の工夫をさらにすすめる。</p> <p>③ 教材の共有化や、授業見学・職員研修会を充実させ、授業改善に取り組んだ。</p>

学校目標	取組みの内容		校内評価		学校関係者評価	学校評価
	具体的な手立て	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		
4 キャリア教育をさらに充実させ、豊かな人間性や社会性を伸ばす相談体制の充実を図りながら、生徒の自己理解と自己成長に向けた指導・支援に取り組む。	<p>① キャリアグループと学年が連携してKCやキャリアカウンセリングを実施する。</p> <p>② 相談活動などをおして生徒一人ひとりが進路目標を定め、実現する手立てを見出させる。</p> <p>③ 学校行事や日々の学校生活をおして豊かな人間性や社会性を育み、将来社会で活躍できる人物の育成に向け、リーダーシップや自ら成長をする態度の育成を支援する。</p>	<p>① 面談後の教員アンケートにおいて、グループの立案と学年での実施が円滑に行われたことが確認できたか。</p> <p>② 相談活動をおして、個々の生徒の進路希望に応じた適切な指導や相談ができたか。</p> <p>③ 学校行事やクラスでの指導、面談などをおして、生徒の状況に応じた適切な支援ができたか。</p>	<p>① キャリアグループの計画に基づき、学年と担任が適切な情報共有を図りながら、キャリア教育を実施した。</p> <p>② ホームルーム、学年集会、授業、面談等をおして、生徒の学習状況や到達状況、進路目標等を的確に把握し、それを踏まえた情報提供や学習方法等について指導・支援等を行った。</p> <p>③ 連携による附属横浜中学との交流、保土ヶ谷養護学校との交流、さまざまなキャリア関連行事や日常的な面談等をおして、生徒のキャリア教育を充実させる取組みを行った。</p>	<p>① 学年、グループ、各教科・科目がさらに連携を深めながら、生徒のキャリア教育の充実に努める。</p> <p>② 個別面談やHR活動を通じて、生徒の希望・適性を考慮しながら適切な進路選択を行えるように一層の指導・助言・支援を行う。</p> <p>③ 1年次に培われた基本的な生活習慣や社会的マナーを基盤に、3年間を通してより良い学校生活を営めるように支援する。</p>	<p>① 先生方は日常の授業が大変な中で、個々の生徒に応じた面談等を実施しており、頭が下がる思いだ。担任も変わるので、一人ひとりのデータの積み重ねをお願いしたい。(保護者)</p> <p>② 教員は生徒が希望の進路実現を行えるよう適切な指導やサポートを行っている。今後も継続的に取組んでほしい。(学校評議員)</p> <p>③ 生徒には、将来社会に出たときに、今まで自分の身の周りになかったものに接する機会が増えるということを意識させたい。外国人だけではなくハンディキャップの人々など、異質なものに抵抗感を抱かないような人間形成をお願いしたい。(学校評議員)</p>	<p>① 6月と11月に個人面談を実施したほか、適宜必要に応じたカウンセリングを実施した。カードやハンドブックがさらに使いやすくなるよう、改善を図りたい。</p> <p>② 担任と教科担当と協力して家庭学習の方法を支援していく。3年次には方向性を明確に見据え、目標に向かっていけるように指導・支援する。</p> <p>③ 社会人になって各分野で活躍できる人材育成を目指し、リーダーシップを発揮できる人間形成を目標として取組んでいく。</p>
5 地域と交流及び協働・連携し、生徒の地域貢献・ボランティア活動を一層推進する。さらに、部活動や委員会活動・学校行事を通じて、生徒の自主的な活動を発展させる。	<p>① 地域貢献・ボランティア活動に関する情報を提供するとともに、周辺の学校・地域との連携の充実を図る。</p> <p>② 部活動の高い加入率を維持するとともに、委員会活動、学校行事の充実と活性化を図る。</p>	<p>① 活動の目的・趣旨が適切に伝わり、活動が充実したものとなったか。</p> <p>② 部活動、委員会活動、学校行事の参加状況を向上させ、生徒の主体的な取組みに向けた指導・支援ができたか。</p>	<p>① 近隣の小学校、養護学校、自治会等との行事に参加して、様々な交流を行うとともに、清掃活動などにより地域貢献・ボランティア活動の充実を図った。</p> <p>② 90%以上の部活動加入率を維持し、部活動の活性化に努めた。委員会活動や学校行事について、指導・支援を行い、生徒の主体的な活動を促した。</p>	<p>① 地域貢献活動やボランティア活動のねらい・趣旨を明確にして生徒へ伝え、一層効果的な活動を目指す。</p> <p>② 部活動や委員会、学校行事における生徒の活動状況を様々な場面で十分に把握して情報を共有し、柔軟で適切な指導・支援に努める。</p>	<p>① 自治会と高校との距離をより一層近づけていくが必要である。(学校評議員)</p> <p>② 光陵生はみんな、それぞれの個性を尊重して認め合っている。「いじめ」という言葉も聞かない。体育祭の係のように、生徒一人ひとりがやれるものを発揮できる学校だと思ふ。(保護者)</p>	<p>① 生徒会が地域の防災訓練に参加しており、生徒にとっていい経験になっている。現在までは部活動を通じて地域の学校との交流を行っているが、今後は部活動を介さない交流も考えていきたい。</p> <p>② 部活でも学校行事でも生徒が主体となって試行錯誤しながら運営している。教員側は、調整役として生徒の成長を支えている。</p>
6 生徒の学びを支える、学校防災力を高め、安全・安心な学習環境の整備・充実を努める。さらに、職員事故・不祥事の防止を徹底し、信頼される学校づくりを推進する。	<p>① 災害発生時に生徒が自ら正しい行動がとれるよう防災教育を充実させると共に、校内体制を点検・整備し、防災力の向上に努める。</p> <p>② 美化委員会やPTA組織の活動を活性化させると共に、生徒の活動場所や備品の安全管理、破損危険箇所の改善に努め、安全で清潔な学習環境の整備に努める。</p> <p>③ 成績処理業務、調査書・指導要録等の諸帳票の作成・管理を適正に実施する。</p>	<p>① 防災訓練をおして、防災・減災についての正しい知識や行動を生徒が理解できたか。また、緊急時の職員対応を整備できたか。</p> <p>② 美化委員会やPTAによる環境整備活動が年間を通じて効果的に行われたか。また、破損危険箇所への安全対策が迅速に行われたか。</p> <p>③ 成績処理や諸帳票の作成・管理が適正に行うことができたか。</p>	<p>① 2回の防災訓練をおして避難経路や集団下校班の確認を行うとともに、防災講演会などを通して生徒の防災・減災意識を向上させることができた。また、災害時の職員の役割分担や集団下校時の引率班などを確認し、緊急時の対応に対する意識啓発ができた。</p> <p>② 美化委員会やPTA活動を計画的に実施し、校舎内のすず払いや草取り、落ち葉清掃、花の植え替えなどを実施した。また、校内の備品の点検や危険箇所の点検を実施し対応した。</p> <p>③ 事故・不祥事防止会議を定期的に開催するとともに、日頃から職員間で声をかけ合い事故・不祥事の防止に努めた。</p>	<p>① 実際の震災を想定したより実践的な防災訓練を実施するための工夫を図っていく。</p> <p>② 老朽化に伴う汚れや破損箇所を点検・改善していく。</p> <p>③ 日常的に事故・不祥事防止の徹底を図り、より信頼される学校づくりを推進する。</p>	<p>① 大きな災害時に高校がどのように開放されるのか、自治会側からすると把握しておきたい。(学校評議員)</p> <p>② PTAでは、少しでも教員の手伝いをして負担を減らしたいという強い気持ちがある。今後も連携を深めていきたい。(保護者)</p> <p>③ 成績処理については、学期末・年度末のまとめとなるものであり、将来の進路にも影響があることなので、細心の注意と万全のチェック態勢を望む。(学校評議員)</p>	<p>① 災害が起きた時に、学校がどの程度、地域に貢献できるのか、学校も生徒を預かってい立場であるので、その点も踏まえ考えていく。</p> <p>② 本校PTAの方々は非常に協力的で助かっている。今後もPTAと学校の連携を大切に、生徒の支援をすすめていく。</p> <p>③ 成績確定、システムへの入力、出力結果という各段階での業務のあり方を担当グループで、細心の注意と万全のチェック態勢を望む。(学校評議員)</p>